

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月6日

上場会社名 株式会社フォーラムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 7088 URL https://www.forumeng.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 細野 恭史 TEL 03 (3560) 5505
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,281	△11.1	138	△89.5	137	△89.5	93	△89.6
2020年3月期第1四半期	8,194	—	1,314	—	1,314	—	905	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	3.52	3.50
2020年3月期第1四半期	34.01	—

(注) 2020年3月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,018	11,658	55.5
2020年3月期	17,059	12,842	75.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 11,658百万円 2020年3月期 12,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	48.00	48.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,440	△14.6	1,490	△63.5	1,460	△61.1	1,000	△53.2	37.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	26,678,400株	2020年3月期	26,673,900株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	一株	2020年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	26,677,757株	2020年3月期1Q	26,627,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期会計期間及び当第1四半期累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前会計年度についても百万円単位に組み替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大への対応として4月に緊急事態宣言が発令されたことなどから急速な悪化を余儀なくされました。5月末に緊急事態宣言が解除されたことを受けて今後持ち直しに向かうことが期待されるものの、足元では感染者数が再び増加傾向にあるなど、依然国内外の感染症の動向は楽観視できない状況が続いており、経済回復の道りは不透明な状況が継続しております。

このような経済環境において当第1四半期累計期間の雇用環境は急速に悪化し、有効求人倍率も低調に推移いたしました。エンジニア派遣業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした在宅勤務や自宅待機が一時急増し、また稼働形態の変更による稼働時間の減少が生じるなど、様々な影響が出てきております。

このような状況の下、当社の第1四半期累計期間のエンジニア派遣サービスにおきましては、顧客である機電系大手製造業における派遣エンジニアの需要が鈍化したことなどから、稼働人員数は前年同期に比べ約10%程度減少いたしました。また、就業中技術社員の平均稼働時間は、テレワークの実施や残業時間の減少等により、前年同期に比べ約6%程度減少いたしました。

一方、当社は改正派遣法に基づく「同一労働同一賃金」ルール導入に伴う単価改定交渉を精力的に行い、当社派遣単価は2020年6月末時点で前年同期に比べ約4%程度上昇しております。

エンジニア紹介サービスにおきましてもやはり新型コロナウイルス感染拡大の影響で機電系大手製造業の正社員採用意欲が一時的に低下している状況ですが、転職を検討しているエンジニア人材は多く存在しております。こうした背景の下、当社は2020年4～5月に「コグナビ 転職」サービスのテレビCMを放映し、若手エンジニア層を中心に「コグナビ」ブランドの認知度を高めることに成功いたしました。この結果、「コグナビ 転職」新規登録会員数も、当テレビCM放映前に比べて約4倍に増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は7,281百万円(前年同期比11.1%減)となりました。また、売上高の減少に対応して経費を抑制したものの、テレビCM等によるプロモーション費用を計上した一方で申請済みの雇用調整助成金の多くが未受領であることなどから、当第1四半期累計期間の営業利益138百万円(同89.5%減)、同経常利益137百万円(同89.5%減)、同四半期純利益93百万円(同89.6%減)となりました。

なお、当社はエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は17,750百万円となり、前事業年度末に比べ4,134百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が4,349百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,267百万円となり、前事業年度末に比べ174百万円減少いたしました。これは、主に無形固定資産が128百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は21,018百万円となり、前事業年度末に比べ3,959百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は9,359百万円となり、前事業年度末に比べ5,142百万円増加いたしました。これは、主に短期借入金が5,000百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は9,359百万円となり、前事業年度末に比べ5,142百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は11,658百万円となり、前事業年度末に比べ1,183百万円減少いたしました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が1,186百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は55.5%(前事業年度末は75.3%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の通期業績予想につきましては、2020年5月15日に公表した「2020年3月期 決算短信」において未定としておりましたが、この度、現時点で入手可能な情報に基づき編成いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当事業年度における経済環境は世界的に悪化しております。これに対して主要各国は強力な財政政策を実施するなどしてその影響を最小限に留めるように努めておりますが、感染終息時期は未だに見通しにくく、従って経済回復への道のりも不透明な状況です。

こうした中、今般当社は、新型コロナウイルスの影響が当面継続して当事業年度内はエンジニア人材需要が本格的に回復しないという前提を置いて、当事業年度の業績予想を編成いたしました。

上述の前提に基づき、今般開示する業績予想においては、当社エンジニア派遣サービスの稼働技術社員数が前年度に比べて減少する想定としております。当社は、当事業年度において技術社員の新規採用を抑制し、在籍技術社員の稼働を優先的に進める方針です。但し、機電系大手製造業における理工系新卒学生採用数が縮小する可能性を念頭に置き、かつ翌事業年度以降のエンジニア人材派遣需要の回復を見越して、2021年3月卒業予定新卒学生の技術社員としての採用を行って翌事業年度以降の業績回復の布石といたします。

これらを踏まえ、当社は当事業年度のエンジニア派遣サービスにおける稼働人員数を前年度比約15%減、平均稼働時間を同約4%減、平均派遣単価を同約4%増と想定しております。

一方、経費につきましては、春季テレビCMの実施による広告宣伝費が増加いたしますが、一方で人材募集費をはじめとしたその他の経費削減に取り組む方針です。この結果、販売費及び一般管理費合計額を前年度比で約10%削減する方針です。

また、当事業年度通期では、約700百万円の雇用調整助成金を受給する前提としております。

以上の結果、当事業年度の売上高を27,440百万円、同営業利益を1,490百万円、同経常利益を1,460百万円、当期純利益を1,000百万円として計画しております。

なお、業績予想につきましては、当決算短信発表時点で当社が取得できた情報に基づくものであり、状況が変化した場合には業績予想を修正する場合があります、その際は速やかに開示いたします。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

2020年5月15日に公表した「2020年3月期 決算短信」におきまして2021年3月期の1株あたり予想配当額につきまして未定としておりましたが、今般の2021年3月期業績予想の発表に合わせて当事業年度の予想配当額を下記のとおり決定いたしました。

従来より開示しているとおり、当社の剰余金配当に関する基本方針は、持続的な成長を通じて中長期的に株主還元を充実させることを目指して収益力を強化し、業績に基づく継続的かつ安定的な配当を行うことです。また、配当性向につきましては60%以上を維持することを目標としております。

当社は、新型コロナウイルス感染拡大が当事業年度の当社業績に影響することは避けられないとの認識に基づいて、当事業年度の業績予想を開示しております。但し、当社では新型コロナウイルス感染拡大の影響はその収束とともに縮小し、当社の中長期的な成長ポテンシャルは損なわれないと考えております。

また、当社のビジネスモデルは多額の設備投資等を必要としないものであり、さらに当社は現在までに厚い手許資金と利益剰余金を蓄積してまいりました。

以上の各点に鑑み、当社は、2021年3月期に限り、「継続的かつ安定的な配当の実施」を配当政策の最優先課題に置き、配当性向については柔軟に運用する方針といたします。従って、当社の2021年3月期1株あたり予想期末配当額を前事業年度（2020年3月期）の1株あたり実績期末配当額と同額に据え置いて「1株あたり48円」といたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,348	13,698
受取手形及び売掛金	3,961	3,778
その他	306	273
流動資産合計	13,616	17,750
固定資産		
有形固定資産	494	557
無形固定資産		
ソフトウェア	1,588	1,437
その他	25	48
無形固定資産合計	1,614	1,486
投資その他の資産	1,333	1,224
固定資産合計	3,442	3,267
資産合計	17,059	21,018
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	5,000
未払金	1,436	2,201
未払法人税等	198	55
賞与引当金	1,399	713
その他	1,182	1,388
流動負債合計	4,216	9,359
負債合計	4,216	9,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	105	106
資本剰余金	117	119
利益剰余金	12,619	11,432
株主資本合計	12,842	11,658
純資産合計	12,842	11,658
負債純資産合計	17,059	21,018

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8,194	7,281
売上原価	5,373	5,236
売上総利益	2,821	2,045
販売費及び一般管理費	1,506	1,906
営業利益	1,314	138
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	1	0
営業外費用		
支払利息	0	1
シンジケートローン手数料	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	1,314	137
税引前四半期純利益	1,314	137
法人税等	409	43
四半期純利益	905	93

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社はエンジニア派遣・紹介事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等